

## にら栽培における防草シート活用による夏期の除草作業軽減効果の検証

### 要約

新植株で、定植時に防草シートを展張したほ場（供試区）では慣行栽培のほ場（対照区）と比べて夏期のハウス内除草に係る作業時間が1/2程度に軽減された。また、2年株でも雑草防除効果は高く除草作業時間の軽減につながると考えられる。定植は手作業になることから、小規模生産者の取組として想定している。

### ○ 展示のねらい

夏期の除草作業に労力がかかり、その期間の出荷作業等ができず、各種作業の省力化を模索している。そこで、定植時に防草シートを展張し、除草作業等の労働時間削減効果や収量調査を行うことで地域に波及可能な栽培方法となり得るか検証を行う。

### ○ 主な成果

- ・播種日：令和3年4月5日 定植日：供試区 6月12日、対照区 5月31日
- ・供試区では定植時の作業（防草シート展張～定植）に4時間かかったが、除草時間の軽減により全体の作業時間が軽減された（表1）。
- ・新植株ハウスでは、防草シートにより除草作業時間が2分の1程度に軽減された（表2）。
- ・2年株ハウスでは、防草シートにより雑草が繁茂する前に除草することができた（表3）。

表1 新植株ハウス1棟当たりの各作業時間（作業時間の差異があるもの）

作業	防草シート		定植	除草作業	捨刈	マルチ展張	株出し	合計
	展張	穴開け						
供試区	1	1	2	2.5	3	—	—	9.5
対照区	—	—	0.5	5	2	1	2	10.5

表2 新植株ハウス1棟当たりの除草作業時間の内訳

作業	除草剤散布	除草			8～9月の作業の詳細	
		7月上旬	7月下旬	8～9月	作業時間帯	雑草の状態
供試区	—	0.5	—	2	7～9時	株出し穴からのみ発生
対照区	1	0.5	0.5	3	7～9時	ハウス全面に雑草が発生

表3 2年株ハウス1棟当たりの除草作業時間

作業	除草時間	除草作業の詳細
供試区	2	・夏場を通して気がついたときに随時実施 ・株出し穴からのみ発生しており抜くのに手間がほとんどかからなかった
対照区	— (繁茂しすぎで除草せず)	・雑草の繁茂が激しく、除草作業が間に合わなかったため実施できず ※例年、慣行栽培の2年株では除草ができていない

※ハウスは4.8m×33m

### ○ 今後の方向性

除草に係る労働力確保が困難な生産者を中心に普及を図っていく。

実施機関：河内農業振興事務所経営普及部 実施場所：宇都宮市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315